

# むさし野

No.51

事務局 〒350-0822 川越市山田914-9 石井方  
 電話・FAX 049-225-2466  
 E-mail:ishii.0525@r8.dion.ne.jp  
 ホームページ：http://www.longview.jp/musashino/

ちゅうちよ  
 「躊躇」

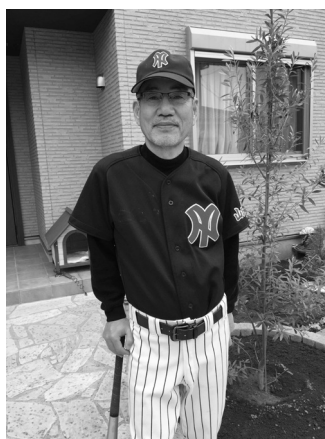
会長 石井 満

新年度を迎え法政むさし野会員の皆様にかかれましては健やかに過ごしのこととご拝察申し上げます。

本会は日本を取り巻く国際政治的な位置や政府発表の経済活況指数とは別の場所に位置する、言わば永世中立国的な団体です。かといって無風状態では有りません。

昨年の定例総会に於けるJAXA 阪本教授の講演は素晴らしいものでした。その中で触れられた「はやぶさ2号」が昨年12月に種子島から打ち上げられました。時々テレビや新聞で「はやぶさ2号」の現況ニュースが報道されると、近親感を覚え感動しています。帰還は打ち上げから6年後の2020年東京オリンピック開催の年の12月が予定されています。これも密かな楽しみの一つです。

さて、新年度の挨拶の題名としては何とも相応しくない「躊躇」、言葉に出してしまえば済んだものを、「躊躇」してその一言がいえず悩みとなり、時間が経たなければ無くならない雨上がりの水溜りの様に残ってしまう。その一つ、会報『むさし野・50記念号』への寄稿をお願いしたところ、会員22名、関係者4名合計26名の寄稿が集まりました。こんな小さな会では良く集まった方だと思います。実は、原稿の締切り間近になっても届かない親しい数名の会員が有りました。催促の電話をすべきか否か？ 会長としては親しいから電話する、或いは、会への参加が少ないから電話しない、というのは可笑的。全ての会員に対して公平であるべきである。との考えから原稿は来た人のみ掲載する事、で一応自分に決着を付けました。しかし、一人だけ心に引っかかる人がいました。法政大学井



坂義雄名誉教授です。その人となりは当会総会講演をして頂いたり、会報「むさし野」送付後に頂く返礼の手紙からも厚情は理解出来ていました。教授からの原稿が来ない、来ていない、可笑的。会報50号原稿と書いたファイルを何度逆さにしても届いていない。電話すべきか否か、しかし、「誰にも電話をしない」という自分への決着もある。井坂名誉教授には1月24日法政大学校友会主催「オール法政新年を祝う会」でもお会いした。教授からは「いつも会報を送って頂き有難うございます。楽しみに拝見しています」との御礼の言葉があった。その時でも「教授、原稿は送って頂いていましたか？」とお尋ねする事ができなかった。否、この時は時すでに遅し、で、尋ねるべきではなかった為も有るが。

4月に入った或る日、新居への引越し荷物を作り始めた。狭いながらも煩雑な書齋を片付けていると「法政むさし野会・石井満様」と宛名書きされた白い封筒が狭い机の上の書類の下からひょっこりと顔を出した。暫く手が止まってしまった。井坂名誉教授への疑心を持った自分の峽量への自責の念、電話出来なかった「躊躇」。

写真は地元で監督をしているソフト部の試合後帰ってきた所です。最後の打席は2ボール2ストライク、5球目ど真ん中高め直球「ヨシ」と思って力一杯振り抜き、三振アウト。ベンチに帰ったらチームメイトが「監督、当たったら飛びましね、きっと」といわれた。躊躇なく振った結果だショウガナイ。

(\*井坂名誉教授からのご寄稿は他頁へ掲載させて頂きました)

## 定期総会のお知らせ（詳細は4ページをご覧ください）

2015（平成27）年度定期総会を下記の通り開催いたします。会員各位のご出席を頂きたくご案内いたします。

- ・日 時 2015年6月7日（日） 13時30分～17時00分
- ・場 所 武蔵浦和コミュニティセンター 8階7号室

\* 5月20日までに欠出連絡をお願いします

## ■ 第1号議案 2014(平成26)年活動報告

- 1 定期総会の開催
  - ・定期総会：14年6月15日(日)、於：武蔵浦和コミュニティーセンター
  - 提出5議案(13年度活動報告、13年度決算及び会計監査報告、14年度活動方針案、14年度予算案、役員の変更及び顧問の指名)を原案通り可決・承認。出席者：23名
- 2 役員会の開催
  - ・第1回役員会：14年6月15日(日)、於：武蔵浦和コミュニティーセンター
  - ・第2回役員会(拡大)：14年11月16日(日)、於：新座市・「垂足軒」
  - ・第3回役員会：15年2月15日(日)、於：武蔵浦和コミュニティーセンター
- 3 会報の発行
  - ・会報「むさし野」第48号：14年5月5日「定期総会開催告示他」
  - ・会報「むさし野」第49号：14年9月15日「定期総会報告、会員の声他」
  - ・会報「むさし野」第50号：15年1月15日「会報第50号に寄せて(投稿：会員22名・法政大学関係者等4名)、見学会報告他」
- 4 研究発表会・見学会の開催
  - ・第27回「新座の平林寺で紅葉散歩とお茶の会」(散歩：野火止用水緑道～平林寺他、茶会：「垂足軒」)：14年11月16日(日)、参加者：17名
  - ・第28回研究発表会：15年2月15日(日)、於：武蔵浦和コミュニティーセンター  
[発表者] 小林薫会員『技術開発への夢』、参加者：17名
- 5 講演会の開催
  - ・定期総会記念講演会：14年6月15日(日)、於：武蔵浦和コミュニティーセンター  
演題：『宇宙への挑戦』講師：宇宙航空研究開発機構(JAXA)宇宙科学研究所教授・阪本成一氏、参加者：26名
- 6 法政大学校友連合会主催事業への参加
  - ・第22回法政大学全国卒業生の集い『福井大会』：14年11月22日(土)、  
於：ホテルフジタ福井(福井市)、参加者：2名(埼玉県校友会での参加)
  - ・15年オール法政新年を祝う会：15年1月24日(土)、於：ホテル・グランパシフィック LE DAIBA  
(東京都港区)、参加者：10名(内、会員家族1名、他団体での参加会員4名)
- 7 その他
  - ・13年度通信教育部卒業生(埼玉県出身)への入会勧誘文書・会報等による入会勧誘活動の実施。
  - ・法政大学関係先及び法政大学校友会地域支部・学部同窓会等への会報の送付。
  - ・その他、会員名簿の作成・配布及びホームページ掲載等。

## ■ 第2号議案 2014(平成26)年度収支決算及び監査報告

### 1 収支決算書1

収入の部 自 2014(平成26)年4月1日 至 2015(平成27)年3月31日

支出の部 自 2014(平成26)年4月1日 至 2015(平成27)年3月31日

科目	予算額	決算額	備考
繰越金	53,389	51,389	
会費	96,000	94,000	47名
会合参加費	47,000	53,000	勉強会等会合参加費
雑収入	3,611	11,157	寄付受取利息
合計	200,000	209,546	

科目	予算額	決算額	備考
会場費	5,000	5,140	勉強会会場費代等
通信費	30,000	24,138	送料等
総会費	40,000	40,666	講師謝礼等
印刷費	40,000	47,337	会報印刷費
事務費	10,000	3,191	コピー代等
勉強会費	50,000	34,990	勉強会講師資料代等
予備費	25,000	1,000	
次年度繰越	0	52,484	
合計	200,000	209,546	

### 2 会計監査報告

法政むさし野会 会長 石井 満殿

法政むさし野会の平成26(2014)年度(平成26年4月1日～平成27年3月31日)収支計算及び付属書類について、2015年4月15日に監査を行った結果、何れも会則に従い会計処理は適正に実施されている事を認めます。

会計監査 鹿野 幸作 ㊟

会計監査 小林 薫 ㊟

### ■ 第3号議案 2015(平成27)年度活動方針(案)

本会の目的を達成する為に、昨年度同様「会員による研究発表・歴史文化施設の見学会等」の開催、会報「むさし野」の発行を主たる活動に、その他、母校法政大学及び会員の協力の下、入会勧誘活動を展開して行きます。また、卒業生として法政大学校友会並びに学部同窓会・地域支部等との情報交換、それらの行う諸事業に参加・協力して参ります。

- 1 定期総会の開催 2015(平成27)年度 定期総会
- 2 役員会の開催 定例会を年3回
- 3 会報の発行 年3回(5月、9月、1月)発行
- 4 研究発表会及び現地散策の開催 年2回(10月、2月)実施
- 5 講演会の開催 定期総会時 6月7日 北沢 正嗣氏
- 6 法政大学校友会主催事業への参加
  - ・東京六大学野球観戦「神宮の集い」春・秋リーグ
  - ・第23回法政大学全国卒業生の集い 福井大会(11月6日(金)～8日(日))
  - ・2017年1月23日「オール法政新年を祝う会」
  - ・その他 箱根駅伝の応援等
- 7 新規会員の勧誘 法政大学卒業生・後援会連携室及び会員の紹介による勧誘活動の展開を図る
- 8 その他 ホームページの充実、会員名簿の配布・連絡通信体制の整備(メール、ファックス等による)

### ■ 第4号議案 2015(平成27)年度収支予算(案)

収入の部 自 2015(平成27)年4月1日 至 2016(平成28)年3月31日

科目	本年度予算額	前年度決算額	備考
繰越金	52,484	51,389	
会費	94,000	94,000	47名
会合参加費	50,000	53,000	勉強会等会合参加費
雑収入	3,516	11,157	受取利息・寄付
合計	200,000	209,546	

支出の部 自 2015(平成27)年4月1日 至 2016(平成28)年3月31日

科目	本年度予算額	前年度決算額	備考
会場費	5,000	5,140	会場費、茶菓代
通信費	30,000	24,738	送料等
総会費	30,000	40,666	講師謝礼・会場費
印刷費	40,000	47,337	会報代等
事務費	10,000	3,191	コピー代など
勉強会費	50,000	34,990	勉強会講師資料代等
予備費	35,000	1,000	繰越金含
合計	200,000	157,062	

幸福は、哲学や宗教の論議だけの範囲内ではない。「幸せは自分の心が決める」ということもあるが、社会的な要因も無視しえない。筆者は幸福追求が人生の目標のひとつということに同意しつつも、幸福感は多様性があるものと考えている。

幸福とは何か。これは、人生とは何かと同義の難問と思われている。ユダヤジョークで、幸福について「モーゼが心の問題だ。マルクスは満腹になることだ。フロイトはセックスだ」ということで、最後にアインシュタインが登場し「結局、相対論だ」というオチがある。

大別して、主観的幸福感と社会上での幸福感(客観的指標での判別)に分けての考察ができる。国連の調査では日本は幸福感で42位で首位はデンマークだ。

過去の解釈で幸不幸は相反する見方ができる。この点はあくまで個人的判定である。それに、比較論も背後にあるように考えられる。他者や過去の自分との対比なのである。極論でいえば、外国や歴史的比較もありえる。

筆者は、インドネシアに旅した時に現地ガイド(インドネシア人)から「(海外旅行ができる)日本人に生まれたかった」と言われたことが、忘れられない。

一度、カナダのブリテッシュコロンビア大学のエリザベス・ダン博士(心理学)の「幸福論」をテレビで

「受講」できた。実証的で平易に学生に語りかけるスタイルである。

幸福はケーキづくりと同様にいろいろな形態だが、材料は決まっています小麦・砂糖・卵の三つに相当するものが、「人との交わり」・「親切」・「ここにいること」(実存)と分析している内容であった。実証的研究の成果なので説得力があった。また、アンチ幸福論からの考察も幸福の本質にせまるかもしれない。

幸福に公式はないか。実はある。正確には「幸福感の公式」と思われる。

「アエラ」と言う雑誌で紹介されていた。

$$\text{幸福感} = \sqrt{\text{経済力} \times \text{健康} \times \text{人間関係}} + \alpha$$

( $\alpha$  = 自分が思う因子)

この数式に心酔している。むしろ、この公式の反論を聞きたいぐらいである。健康は誰にも異存がない。経済力も前提条件だ。但し、収入増大が幸福感に正比例しないようで、一定限度の収入金額で、「(仕事の)ストレス」によりブレーキがかかるとの研究がある。人間関係はまさに上述した「人との交わり」である。また、感謝日記の効用もある。ささやかな感謝や親切を記述することで幸福感が増す。

夢とときめきを日常的に持つことが幸福の近道かもしれない。

「幸福」は日常生活から  
大川成一(章加市)

# 総会（6月7日）の記念講演 『笑いを探る—笑いの話で笑い愛 ささえ愛』

生涯楽習 ユーモアのすすめ。笑いは百薬の長、健康長寿、コミュニケーションは笑いから始めましょう  
講師 北沢正嗣氏 彩の国いきがい大学講師。NPOシニア大楽講師。彩講会講師

## ■ 定期総会スケジュール

- ・日 時 2014年6月7日（日）13時30分～17時00分（役員の方は13時までにご参集下さい）
- ・場 所 武蔵浦和コミュニティーセンター8階6号室（JR武蔵浦和駅西口徒歩1分）  
今年も総会において会員皆様の趣味や活動の成果を会場内に展覧します。ご出品ください。

第1部 総会 13:30～13:55

- ・議事 第1号議案 2014年度活動報告 第3号議案 2015年度活動方針
- 第2号議案 2014年度収支決算及び監査報告 第4号議案 2015年度予算

第2部 講演会 14:00～15:30（写真撮影） 第3部 茶話会 15:40～17:00

## 「私の研究開発人生」小林会員が発表 2月の勉強会

小林さんが技術者として開発に携わっていることはきいていましたが、今回の講演で初めてのその内容を知ることができました。開発のきっかけはある人物が紹介してくれた「電解水」というもの。この人は小林さんと同年齢で同郷人さらに法政大学出身というまさに運命の出会いだったとのこと。

所属する会社でこの「魔法の水」の商品化をまかされてからまる3年間、土日もなしに取り組んで2年目に「除菌シート」で記念すべき「特許2006-290586」を取得するに至ります。しかし、それだけでは売れる商品にはなかなかならず、さらに試行錯誤のすえ、「部品洗浄装置」が完成、メーカーの商談会で好評を博し、2008年の展示会で、これを使用したいという企業からの注文があり、役に立つ製品を開発したという、うれしい気持ちがあわてきたそうです。さらに開発を進め、今度は処理した洗浄水から汚れを取り除く特殊なフィルタと装置の開発に着手、外部機関でその性能が客観的に証明され、これも特許になりました。そして、これも熱心な外部経営者との協力で製品化に成功。

この間に、特許とは別に製品自体が「平成20年度中小企業異業種交流財団優秀製品賞」「平成21年度日刊工業新聞社主催イノベーション創出コンテスト2009奨



励賞」と2年連続しての表彰をうけ、さらに「平成25年渋沢栄一ビジネス大賞テクノロジー部門特別賞」などを受賞しています。ブランド力のない中小企業にとってはこうした受賞は、製品の営業展開のうえで大きな力になったとのこと。生産技術は学術研究と違って、社会の中で利用されてはじめて意義のものです。

この製品は現在も小林さんが中心になって開発から生産、販売までを行っているとのこと。「全く未知の商品から地球温暖化、CO2削減など地球規模での環境負荷を低減できる技術として貢献できることを確信している」と、資料と実際の完成製品をもとにして熱心な説明を行ってくれた小林さん。今後もがんばってください。（筑井）

## 「むさし野50号」に寄せて—おめでとうございます

井坂義雄（法政大学名誉教授）

福井の地に、文字で記録されることの大切さを痛感させられた言葉がありました。「ふるき世のその面かげを忍にはふみよりほかにしく物ぞなき（松平春嶽）。いにしえのことではなく、日々活動されている皆さんの多彩な様子を伝えている会報『むさし野』です。これからも長く続けられていくことを期

待します。記念号発行おめでとうございます。（別紙一筆書き便箋にて）

『むさし野』49号をお送り頂き、有り難うございます。「会員の声」欄を読んで皆さんが法政むさし野会に寄せている気持ちが伝わってくるように思いました。原稿を同封いたします。次号を楽しみにしております。

## ◆ことば◆

二十四節気の一つ立夏（今年は5月6日）を向え、暦の上ではこの日から夏に入ります。夏といえば、すぐに暑さを連想しますが、晩春に比べると、むしろ心地良ささえ感じられます。木々の新緑や水面に目を向けると自然の美しさを、牡丹・薔薇・梨などからは夏のすがすがしい香りを、私達に感じさせてくれます。この時期、自然の美しさの前で私の心は佇み感動を覚えます。（榊原）